

いつも心に川がある
堀川まちづくりの会企画展

舟運・筏・川遊び 堀川のにぎわい

今の川遊び ゴンドラを楽しむ

ゴンドラと堀川水辺を守る会

堀川では、ベネチアで最高級のゴンドラの運航を市民ボランティアで運営しています。ゴンドラは、ベネチアで実際に使われていたもので、全長11メートル、幅1.4メートル、6人乗り。春から秋にかけて毎月ゴンドラ体験乗船会を開催しています。また、春の堀川フラワーフェスティバルのゴンドラウエディングや、堀川で開催されるイベントでの臨時運航など、堀川ではゴンドラを見て、乗って楽しむことができます。



詳しくはゴンドラと堀川水辺を守る会のHP

<http://www.horikawa-gondola.com/mizu-no-miyako/> をご覧ください。

堀川のゴンドラを楽しむための4つのポイント！

01 ヴェネツィア生まれ

ゴンドラは、大小様々な運河が縦横に流れる、ヴェネツィア（イタリア）の交通手段として開発されました。それが現在、公共交通機関の役割を果たす一方で、運河を巡る観光タクシーとして使われています。日本にこのゴンドラがやってきたのは1989年。2005年の愛・地球博の際に、堀川で初運行されました。ちなみに、日本で本場ヴェネツィア産のゴンドラ乗船ができるのは、堀川だけなのです。

02 ゴンドラの特徴

ゴンドラの船体は一般的な舟と違い、左舷の方が幅が広く、船体が左右非対称になっているのが特徴です。その理由は、船尾の左側に立つゴンドリエーレ（漕ぎ手）が、バランスを取りやすく、船の原動力になるオールも右側にあるから。乗り降りも左側で、右側に体重を強く掛けると、落ちてしまう可能性があるため注意です。ゴンドラの動かし方は、4m程ある1本のオールを、体全体で上下左右に動かして舵を取ります。通常のゴンドラはシンプルな装飾ですが、堀川のゴンドラはウェディングなどに使用される特別仕様で、豪華なあしらいが施されるなど、船内も見どころいっぱい！



03 静か々乗り心地

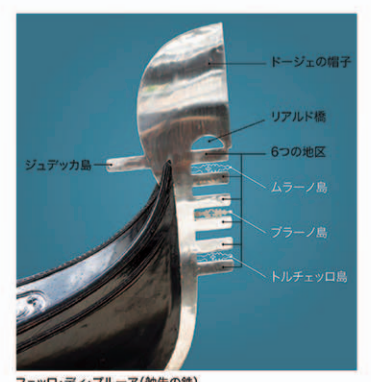
ゴンドラにソファが取り付けられているため、くつろぎながらの乗船が楽しめます。堀川は波が立たない程なだらかなので揺れが少ないです。また、ゴンドラと水面が触れ合う音が聞こえません。それは、船底の船首側が平なため、水の切り裂き音が発生しないから。とにかく静かでゆったりな乗り心地で、船酔いすることもほとんどありません。



04 ゴンドラの守り神

ゴンドラには装飾として、ヴェネツィアの守り神であるライオンをモチーフにして作られた「ヴェネツィアの獅子」（翼を持ったライオン）が取り付けられています。

また、ゴンドラの船首には、舳先の鉄という意味の「フェッロ・ディ・プルーア」と呼ばれる装飾があり、ゴンドラの船体を保護する役割や、船尾に立つゴンドリエーレとのバランス役を果たします。実はこのフェッロ、「ドージェの帽子」「リアルド橋」「ジュデッカ島」「6つの地区」「ムラーノ島、ブラーノ島、トルチェッロ島」とヴェネツィアの重要なシンボルを表現しているのです。



フェッロ・ディ・プルーア（舳先の鉄）